県内外チームと野球で交流
自然首都ただみカップ初開催 只見中が優勝

「第１回　自然首都・只見　中学軟式野球交流大会（ただみカップ）」が９月２１日、２２日、町下球場と只見中学校の２会場で開催されました。只見中野球クラブ保護者会が主催し、野球で選手の交流を図ろうと企画されました。県内外から９チーム、約１３０人が集まり、熱戦の結果、只見中野球クラブが優勝しました。

また、町教育委員会が大会運営を支援し、参加者全員に「只見高校で野球をやろう！」というメッセージや奥会津学習センターの資料を配布しました。


▲優勝した只見中野球クラブの皆さん

児童文学者・山内秋生が生まれた二軒在家で
シゴトシ・ユッコギに身を包み稲刈り


▲快晴のもと、稲刈りに汗を流す参加者の皆さん

９月２３日、二軒在家集落で児童文学者・山内秋生を慕う町民有志が稲刈りを行いました。参加者はめいわ縫子さんが提供したシゴトシやユッコギなどを着て稲刈りをしました。集落の方が稲の手刈りや束ね方を教えました。

田は文学作品の舞台にもなった八幡神社への道沿いにあり、所有者の矢沢英也さん（二軒在家）は「機械が入れない小さい田なので、活用してもらい大変良かった」と話しました。収穫されたもち米は、１１月１４日にただみ・モノとくらしのミュージアムで開催される山内秋生をテーマにした「秋燕祭り」で販売予定です。

福祉を学んで、つながる人の輪
「只見町社会福祉の集い」開催

「第４回　只見町社会福祉の集い」（只見町社会福祉協議会主催）が９月２６日、朝日公民館で開催されました。福祉をより身近に、見て学んで楽しんでもらおうと開催され、地域活動支援センターじねぇんとの方々が教えるブナの木工作や防災食づくり体験が行われました。

同時開催された地域福祉講演会「落語で終活」（中央公民館主催）では、行政書士で社会人落語家の生島清身さんが創作落語を披露し、終活について講演を行いました。



▲家族や人生について考える創作落語を披露された生島清身さん（中央）

八十里越暫定開通を記念

「河井継之助歴史バスツアー」開催

河井継之助ゆかりの地を巡る「歴史バスツアー」(只見町河井継之助記念館ボランティアガイドの会主催）が９月２６日に開催され、県内外から１０人が参加しました。

来年の八十里越暫定開通を控え、戊辰戦争や河井継之助の歴史を知ってもらおうと企画され、６名のボランティアガイドが解説しながら町内の史跡を巡りました。東軍・西軍宿舎跡や只見代官　丹羽族自刃の家、叶津番所などを回り、参加者はガイドの解説に熱心に耳を傾けていました。



▲長岡藩士　石垣龍三郎の墓で解説するガイドの目黒信さん(右)と解説に聞き入る参加者の皆さん

市町村対抗県ソフトボール大会

只見町チーム　須賀川市に５－８で敗退



▲適時打を放つ渡部倫選手



▲力投する馬場晶子選手

第１３回市町村対抗福島県ソフトボール大会は１０月３日、相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開幕し、只見町は須賀川市と対戦しました。

１回に３点を先制するも、２回と３回に相手打線の猛攻で逆転されます。４回には反撃を見せ１点差まで追い上げましたが、再び点を奪われ５－８で敗戦となりました。

試合では五十嵐彪斗選手や小林拓矢選手が長打を放ち、投げては馬場晶子選手が粘り強い投球で、来年につながる戦いを見せました。

震災と復興を未来へ紡ぐ高校生語り部事業

小田隆史氏「防災地元学」を講演

令和８年度「震災と復興を未来へ紡ぐ高校生語り部事業」第１回講演会が１０月７日、只見高校で開催されました。東京大学大学院の小田隆史准教授が講師を務め、地域に根ざした防災のあり方を研究する「防災地元学」について講演されました。

その後、生徒が只見町の環境ではどのような災害があり、どのような備えが必要か話し合い、考えを発表しました。小田氏は「東日本大震災から１５年が経ち、次の世代にも震災を知ってほしい。地域の伝承から、災害や備えについて考えてほしい」と話しました。



▲只見高校生と地域の防災について意見を交わす小田氏(中央)

町内施設を巡ってみよう

こども園「親子ふれあいデイ」開催

ぶなのもりこども園のイベント「親子ふれあいデイ」が１０月８日、開催されました。親子が自家用車で町内を探索し、車の乗り方や降り方、公共施設でのマナーなどを身につけつつ、親子のふれあいを楽しんでほしいと企画されました。

参加した親子はぶなのもりこども園を出発し、ＪＲ只見駅、滝神社、Ｊ－ＰＯＷＥＲ只見展示館、ただみ・ブナと川のミュージアム、只見公民館を回り、クイズを解いてキーワードを集めました。子どもたちはこども園に戻ってから、おすすめの場所の絵を描いて振り返りました。



▲ただみ・ブナと川のミュージアムでは、ブナに関するクイズが出されました。「ブナはなんのなかま？」

三津家貴也さんがゲストランナーで参加

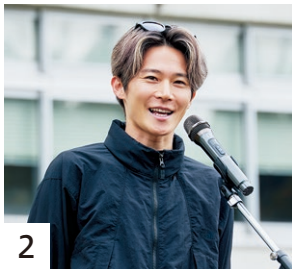
「只見町駅伝競走大会」開催



1



4



2



3

1_スタートする１区走者　2_開会式で挨拶された三津家さん　3_全体のトップでゴールした高田中学校Ａチーム　4_懸命に走った選手を労い、タスキを受け取ります

「第６０回只見町駅伝競走大会」は１０月１１日に開催され、町内外から３８チームが参加しました。また、今回は第６０回を記念し、スペシャルゲストランナーとしてランニングアドバイザーの三津家貴也さんが参加されました。開会式では只見中学校３年生の藤田歩夢さんと長谷川來々さんが選手宣誓を行いました。午前９時３０分にスタートの号砲がなり、全チームが６区間、１４キロのコースでタスキをつなぎ、完走しました。

各部門１位

部　門	部門１位チーム名
中学生男子	高田中学校A
中学生女子	只見中学校駅伝部
一般男子	会津学鳳高校
男女混成	会津中央病院
一般女子	只見うるわし☆レディース

稽古で養った「戦氣」を発揮　「河井継之助杯只見剣道大会」開催

「第１０回河井継之助杯只見剣道大会」（同実行委員会主催）が１０月１２日、町民体育館で開催されました。スポーツ少年団の保護者らが中心となり大会運営を行い、節目の第１０回大会を迎えました。今回も会津地区や本宮市からの参加者を含む約１００人の少年剣士が参加し、個人戦と団体戦に臨みました。

また、各団体の６年生は試合後に只見町河井継之助記念館を見学し、只見の歴史を学ぶとともに、交流して親睦を深めました。



▲攻めの気持ちを持って、相手との間合いをはかります

かるがもクラブ開催　ハロウィン撮影会



▲出来上がったおもちゃを手に仮装して記念撮影をしました

令和８年度第５回かるがもクラブが１０月１９日、保健福祉センターで開催されました。

参加した４組の親子は、始めに手遊び歌で遊びました。その後、ハロウィンのおもちゃとリース作りをしました。透明なビニール袋にオレンジ色のお花紙を詰めて、顔を付けてハロウィンのかぼちゃを作りました。また、紙皿にイラストを貼り付けてリースを作りました。子どもたちは出来たおもちゃや遊具で遊び、楽しい時間を過ごしました。

ブナりん健康ポイント　100ポイント到達おめでとうございます

平山久美子さん（小林）、角田岑子さん（小林）、栗木直枝さん（小川）、星晶子さん（塩ノ岐）が「ブナりん健康ポイント制度」で１００ポイントを達成しました。元気の秘訣として、久美子さんは「サロンやボランティア活動を継続すること」、岑子さんは「ヨガ、太極拳、卓球を楽しむこと」、 直枝さんは「グラウンドゴルフを楽しむこと」、晶子さんは「好きなことをしながら一日一日を大切に過ごすこと」とのことでした。

介護予防のコツは、社会との繋がりを保つこと！それを実践されている４名の皆さん、今後も元気で活躍してください。


▲平山久美子さん（小林）


▲角田岑子さん（小林）


▲栗木直枝さん（小川）


▲星晶子さん（塩ノ岐）